

真麻の話を

聞いたってや!

526号(2014年11月1日発行)

ヤッホ〜真麻やで！
今回はあのウエディング
のオープニングテーマ「パ
ン・パカ・パーン!!」

頑張って早朝から晩遅くまで
残業して一生懸命に働いてく
れは元バスケット部のイケ
メンはん。とゆうことは友美
は年上の姉さん女房。
けど全然そんなん気にする
必要あらへん。なんせ昨今
じゃ「年の差婚」は流行の先
端なんやから。肝心なんはお
二人はんがいつまでも仲良う
暮らさなアカんちゅこてや。
それでも夫婦喧嘩は絶対する
んやろうけど。でも仮にやっ
たらやっただですく仲直りの
「チュウ」して犬も食わん何と
やら……(笑)。

まあ早い話がお互いが信頼
し合って心通が合う幸福
せな家庭を築き上げてくれは
ることを祈っとるからネ!!
って妹として義兄が一人増えた
ことをニマリしながら身体
障害者用の電動ベットのの上で
寝ころがって他愛もあらへ
んこ考えとたんや。
たまたまこの日は晴天ちゅ
うことでウチの面倒見係を全
面的にやってくれとる親父の
水谷洋一(西宮冷蔵・社長:
61歳)が寢室を換気すんのに
ベツト横の窓を全開してくれ
た。そこからはベランダで洗
濯物を干す手を休め西の空を
ポーツと見やつとる洋一の姿
がウチの目にはいつつハハ。
おそろく友美のことを何やか
やと心配したくって思ひめく
らしとんのやろな……と想像
したもんやから声をかけた。
「今やっつきベランダで何見と
たんや?」
「何も見てへんわこ!!」
「嘘ついてもアカかん。姉貴のこ
と考えるとたんやろ?」

「我が娘を嫁がせた父親の心境としては、まあしゃあ
ないか。なんせちよつとは寂しいやろからな……!」
「何ぬかしとんじやい。パパはそんな情けない父親や
あるかい……アホにすな!!」
「ほんならポオーと西の空向いて何見とたん
じや?」
「ウーン……実はUFOが飛んできたんや」
「何やて……UFOやて?」
「それで話しかけてきたもんやから相手したってしゃ
べこつたんや。」
「いったい何語でしゃべったんや?」
「ウーン……そんなンテレバシーに決まっとるやん
け。」
「いったいどこから来たんやその宇宙人?」
「ウーン……こりん星。」
「何じやそりや。それじゃまるで小倉優子やんけ!」
「こんな父親のパカ話でこの日は暮れよった。
数日後、また洗濯物を干す手を止めてからに西の
方を見つめとる……とゆうより今回は覗みつけとる。
「そんな怖い顔して今日は何を見てんねや……こりん
星の宇宙人と喧嘩でもしたんか?」
「そんな笑い話とちやうわい。今日は遥か彼方……鹿
児島の空を覗んどつたんじや!!」
「どしたんや鹿児島が?」
「実はな……川内原発(鹿児島県薩摩川内市)の再稼
働同意に際して伊藤祐一郎・鹿児島県知事が頓珍漢
なコメントを発表しよつたんや。少なくともパパ的
には一番大嫌いな言葉を引用しよつてな!!」
「何やぬその言葉って?」
「「やむを得ない……とゆう言葉や!!」
「何やぬんそれ、まったく意味わからん!」
「「やむを得ない……とゆう文言を広辞苑で索引した
ら 仕方無い……となり、さらに仕方無いを調べたら、
はなはだしく悪い……とつにもならない。改めようが
ない……となるんや。」
「なんのこつちや……さつぱりよつ分からん。」
「アツ・ハツ・ハツ!! 真麻には分からんで当たり前
や。とや、パパと久しぶりにタイムマシンに乗って
一緒に答えを探しに行か!!」
「行へんや。行かひでか? 退屈でしやうがなかった
んや。とや。こつこの時代へ行くんや?」
「1940年9月27日に日本・ドイツ・イタリアによ
る日独伊三国同盟が締結され、結果として太平洋戦
争の勃発へ向けて国家国民が総出となりよつて盲目
の走り出すことになるんや。行くのはこの三国同
盟が締結される直前の時代や。」
「タイムマシンのスタンバイ完了。ほなあ行か。」
「日独伊三国同盟が締結される前、この同盟に猛反対
を唱える連中がおりはつてな、そのリーダー格が当
時の帝国海軍の連合艦隊司令長官・山本五十六中将
(後に元帥海軍大将)やねん。」
「・シユウ・ロクでインロク……って珍しい名刺やな?」
「親父さんが56歳のときに生まれた息ざらしいで。」
「ふーん。んで、何で反対したん?」
「日本がな、ナチスのヒットラー総統が率いるドイツ
と同盟結んで仲良うしたらアメリカやイギリスが怒
りよんねん。なんせドイツはヨーロッパで好き放題
暴れ回って近隣諸国を侵略しまくるとるからアメリ
カもイギリスもドイツのことが大嫌いやねん。」
「ふーん。」
「日本は資源が乏しいてな、その大半をアメリカやイ
ギリスの勢力圏から売ってもろて成り立つとる国や
ねん。そんな日本が米・英両国に逆ろつて、もし物
資の供給をストップされたらその時点で日本はTH
E ENDや。」
「いつそのこと窮鼠猫を噛む……の格言どおり日本がア
メリカなんかをやつつけたたらええんちやうん!」
「ええかよう聞け。当時アメリカは日本の国力の軽
く10倍や。勝てるわけがないやろ。せやから五十六
はんは、猛反対し続けはつたんや。」
「ほんなら、何で三国同盟を締結させて日本は太平洋
戦争やつてもたんや?」
「視野の狭い一部の陸軍や世論の強硬な圧力に遂に海
軍上層部も屈してまつんや……(哀)」
その時の海軍大臣(及川古志郎・海軍大将)の五十六
はんへの意味不明の言い訳の文言が「誠に誠にやむ
を得ず……で、最終決着を下したトップの軍令部総
長(永野修身・元帥海軍大将)の文言も「やむを得
まい……という歴史上、超有名かつ愚かなるコメン
トなんやで!!」
なんでか?とゆうに及ばぬ惨憺
たる結末がやがてやつてきよるんやからな!!」
「ふーん。そんなことがあつたんや。五十六はんもつ
ちよい踏ん張つたらよかつたのに。それにしても
薩摩川内市、大丈夫かなあ……心配やなあ……」
(次号へ続……真麻)

# 拜啓 我が親愛なる超セシブな ボンボン総理&副総理はんへ！！ 道徳教育開始に際して老子の道徳経 より『天道第七十七』を捧げます…。

## 天道第七十七

天の道はそれなお弓を張るがごときか。高きものはこれを抑え、下きものはこれを挙ぐ。余りあるものはこれを損し、足らざるものはこれを補う。天の道は余りあるを損して足らざるを補う。人の道はすなわち然らず、足らざるを損してもって余りあるに奉ず。たれかよく余りあるをもって天下に奉ぜん。ただ有道の者のみ。ここをもって聖人は、なして恃まず、功成りて処らず、それ賢を見すことを欲せず。

天の「道（タオ）」は、弓をたわめるのに似ていないだろうか。弓の上端は押し下げ、下端を引き上げ、ゆるんだ弦は短くし、弦が短ければつなぎ足す。天のやり方は、物が多くありすぎるところから取り去って、物が不足しているところへ補うように施してやる。これは人間のやり方ではない。人は持たない者（貧者）の所から取り上げて、豊かに富んでいる者（富者）への捧げ物としている。じゅうぶんに物が有り余る富者で、それを世界中の者に分け与えてやる人がいるだろうか。それができるのは「道」を体得した人だけである。このように、聖人は（「道」にかなうように）行為して、所有しない。それは聖人が物事を成し遂げても、見返りの名声を要求しないし、そもそも自分が優れているように見られることを望まないからである。

敬 具

残留農薬まみれの野菜なんか食べたらあかんニャン！！

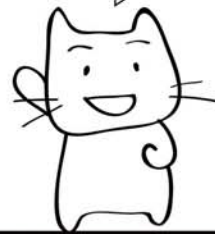
夜間の自転車の無灯火走行はやめよう！！

儲けりゃ何でもありの悪徳業者を許したらあかんニャン！！

電車・バスの中では携帯電話の通話はあかんニャン！！



次女  
MA-SA



私たちは、西宮冷蔵を何としても今一度再建し、『食の安全の実現』という志を遂げたいと  
念願しております。ご支援下さる方は、下記口座までご送金下さい。

三井住友銀行 西宮支店(370)普通預金

口座番号：8215780 口座名義：西宮冷蔵を再建する会 会計 山田廣士

郵便振替 口座番号：00990-1-247740 加入者名：西宮冷蔵を再建する会



西宮冷蔵株式会社 担当：水谷 携帯 090-3491-3738

TEL 0798-35-1234 FAX 0798-35-1237 E-mail nishinomiya-reizou@yahoo.co.jp  
http://www.nishirei.net/